

## 第33期営業の中間ご報告

(平成11年4月1日～平成11年9月30日)



## 第33期上半期の業績と事業活動についてご報告いたします。

### 第33期上半期業績のご報告

まず、西暦2000年を来年に控えた、第33期上半期の業績のご報告からお願いします。

現在、国内では医療サービスの効率化を図るため、医療保険制度の抜本的な改革が進められる一方、高齢化社会に向けた介護保険制度の導入など新たな需要拡大が見込まれています。また、海外では情報技術の活用による医療サービスの提供など、新たな投資が進展しつつあります。このような状況の中で、国内販売・サービス体制の強化と新規事業分野での売上拡大、海外での販売強化に重点をおいた活動を展開しました。その結果、当上半期の売上高は、15,102百万円(前年同期比4.0%増)となりました。

国内市場において具体的に、どのような事業を展開されましたか。

ネットワークサービス機能を持つ、21世紀に向けた戦略的新製品「多項目自動血球分析装置XE-2100」の本格的市場導入を行いました。また、新規事業分野においては、本年2月に行ったAVL社との提携による、血液ガス・電解質分析装置の独占販売がスタートし、POC検査市場での売上が拡大。これらの成果により、8,224百万円(前年同期比5.9%増)の売上高を達成することができました。



一方、海外市場においてはいかがでしたか。

特に欧州地域での販売が順調に推移し、数量的には増加したものの、円高による為替の影響で、売上高6,878百万円(前年同期比1.7%増)の微増となりました。しかしながら、2000年2月にはアメリカでXE-2100の発売がスタート。また、ロシュ社との提携効果で海外市場での販売地域が拡大し、より一層の売上拡大が期待されます。

利益面についての業績についてお聞かせください。

販売費や一般管理費の抑制に努めたものの、海外市場における円高の影響を大きく受け、経常利益は1,548百万円(前年同期比3.3%減)になりました。一方、中間純利益では有価証券評価損が

解消され、786百万円(前年同期比42.4%増)となりました。

よりグローバルな視点を持って、21世紀の豊かな健康社会づくりを目指す。

この上半期で発売された、期待の新製品についてお伺いします。

'99年4月発売の採血をともなわない、世界初末梢血管モニタリング装置「ASTRIM(アストリム)」に続き、より生活者に近いフィールドでの新製品、幼稚園や保育園児の健康管理ソフト「げんききっず」を発売。また、世界最高速の測定を実現した、血液凝固測定装置CAシリーズの最上位機種「全自動血液凝固測定装置CA-7000」を市場導入し、当社の業績に大きく貢献できるものと期待しています。

今後、有望視されるアジアマーケットへの対応はいかがですか。

'98年には、シンガポールに東南アジアでの販売・サービス拠点、インドに生産の拠点を整備しました。アジアマーケットを21世紀の重要市場と位置づけており、今回さらに事業活動の充実を図るため、マレーシアとタイに販売拠点を設立しました。これら現地拠点の円滑な連携で、より地域に密着した展開が可能になると考えています。

間近に迫った2000年問題。その対応策についてお聞かせください。

当社の機器に関する調査は、すでに完了しており、引き続き2000年を経過しても安心して製品をお使いいただくための対応策を継続的に実施。関

連会社を含む社内情報システムについても調査を完了し、個別の具体的な対応も進めています。

さらに充実した顧客サービスの向上、環境の変化に対応した柔軟な事業展開で業績の向上を図る。

今期の見通しについてお聞かせください。

国内市場においては、新規事業分野での売上拡大を強力に展開。また、関東物流センターを設置し、サービスの向上と物流コストの低減を図ります。海外市場では、円高の課題はありますが、業界世界トップ企業との提携を存分に活かし、より一層グローバルな活動を目指します。

最後に株主の皆さまや投資家の方々に一言お願いします。

この半期におかげさまで、個人投資家の方々を中心に、株主数が大幅に増加いたしました。このご期待に必ずお応えできるよう、全社員一丸となり、一層の業績向上に努める決意です。今後のさらなるご支援の程よろしく願いいたします。



取締役社長

家次 恒



SYSMEX (MALAYSIA) SDN BHD

世界を代表するヘルスケア企業「ロシュ社」とポイントオブケア(POC)製品の国内市場での販売、サービスに関する契約を締結

'99年6月11日、当社はロシュグループのドイツ法人ロシュ・ダイアグノスティックス社とPOC製品の日本国内における販売とサービスに関する契約を結びました。

2000年よりOEM供給によるPOC製品の国内販売・サービスをスタートします。POC検査分野は、特に米国において成長が著しい分野です。ますます的確で迅速な医療サポートが求められる現在、わが国においてもPOC検査は、急速に増加する傾向にあります。今回の契約で当社の日本のPOC市場における品揃えがさらに充実。国内No.1サプライヤーを目指します。

POC検査とは...一般的に手術室、ICU、ベッドサイド、開業医などの「患者に近いところ」で行われる検査です。



新たにマレーシアとタイに販売会社を設立し、東南アジアの拠点整備がさらに充実

当社はアジア地域を21世紀の重点市場と位置づけ、積極的な拠点整備を推進してきました。昨年設立したシンガポール、インドに続き、この度、マレーシアとタイに販売会社「シスメックス・マレーシア」「シスメックス・タイランド」「メダワン」を設立。両国のお客さまに、より密着した販売・サービス活動が可能になりました。これらの拠点整備により、東南アジア・南アジアにおけるさらなる事業拡大に取り組みます。

昨年の中国に続き、マレーシアとインドで学術セミナーを開催

当社は'78年から日本国内で毎年「シスメックス血液学セミナー」を開催し、血液学の向上に貢献してきました。

さらに今年は、7月7日にマレーシア、10月10日にインドで開催し、昨年の中国に続きアジア諸国でのセミナーを実現しました。マレーシアでは、お客さま向けに血球計数装置の測定原理などの学術講演を実施。インドではアジア各国の血液学や検査学の先生方をお招きし、それぞれの国々の医学発展に貢献することを目的とした講演を行いました。いずれのセミナーでも活発な質問が寄せられ、ご好評を得ることができました。



インド学術セミナー

## デイドベーリング社との血液凝固関連製品の販売提携契約を更新

'95年にお互いの血液凝固関連製品に関するグローバルな販売提携契約を締結して4年が経過しました。この提携は、当社の凝固機器製品とデイドベーリング社の試薬製品を世界規模で販売・サービスを補完しあうというもので、以来良好な協力関係を継続。製品のラインナップも充実し、両社は現在、凝固市場において世界シェアNo.1の地位を確立しています。'99年4月8日に結ばれた今回の契約更新により、さらにリーダーシップを発揮し、お客さまにつねに新たな価値をご提供することで、グローバルシェアの拡大を目指します。

## 新しい「中央研究所」を、2000年4月開設に向けて建設中

より独創的な技術の開発、人材の育成を図るため、'99年6月に着工した新しい中央研究所。来年4月の開設に向け、順調に建設が進んでいます。21世紀のシスメックスを担う、新たなコアテクノロジー創造の拠点。社内外から大きな期待が寄せられています。



## 粒子の大きさ・形状を画像解析できる フロー式粒子像分析装置 FPIA-2100

当社のコアテクノロジーである粒子計測技術を活用した、科学計測市場に向けた新製品。トナーやインキ、調味料、体細胞や精子など幅広い分野において、さまざまな粒子の大きさや形状を画像解析できる戦略的新製品です。

( '99年9月13日発売 )



## 世界初!! 無侵襲技術を製品化した、末梢血管 モニタリング装置 ASTRIM( アストリム )

体に針を刺すことなく、指先を測定部にセットするだけで、当社独自の近赤外分光画像計測技術により、末梢血管内のヘモグロビン濃度や血管幅の変化をモニタリングすることが可能な新製品。この無侵襲による計測技術は、スポーツ科学分野、企業の研究・開発部門など、医療以外の分野からも注目されています。

( '99年4月14日発売 )



## 世界最高速、1時間に500テストを実現!! 全自動血液凝固測定装置 CA-7000

遠心分離した検体をそのままラックにセットし、20項目の同時ランダム測定と結果出力を全自動化。処理能力は、世界最高速の毎時約500テスト(PT/APTT同時測定時)を実現しました。また、試薬交換作業を軽減させ、検査効率を高めるIDバーコードリーダー(オプション)を搭載。大手病院や大手検査センターに向けた、当社CAシリーズの最上位機種です。

( '99年6月1日発売 )



# 財務諸表の概要(単独)

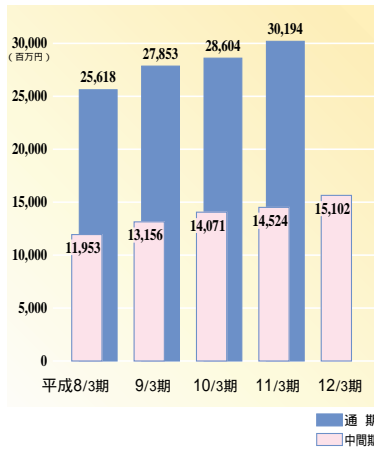
## 貸借対照表

科目	(単位:百万円)		
	当中間期 平成11年9月30日 現在	前中間期 平成10年9月30日 現在	前期 平成11年3月31日 現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	22,447	22,564	23,571
固定資産	19,010	17,862	18,213
<b>資産合計</b>	<b>41,457</b>	<b>40,426</b>	<b>41,785</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	7,500	7,579	8,253
固定負債	737	889	779
<b>負債合計</b>	<b>8,238</b>	<b>8,468</b>	<b>9,033</b>
<b>資本の部</b>			
資本金	3,384	3,384	3,384
法定準備金	5,843	5,790	5,811
その他の剰余金	23,990	22,782	23,555
<b>資本合計</b>	<b>33,219</b>	<b>31,958</b>	<b>32,752</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>41,457</b>	<b>40,426</b>	<b>41,785</b>

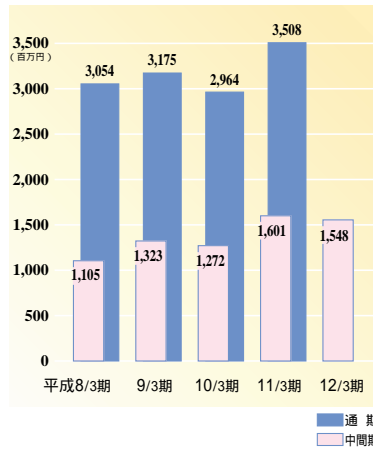
## 損益計算書

科目	(単位:百万円)		
	当中間期 平成11年4月1日から 平成11年9月30日まで	前中間期 平成10年4月1日から 平成10年9月30日まで	前期 平成10年4月1日から 平成11年3月31日まで
売上高	15,102	14,524	30,194
売上原価	6,762	6,137	13,075
<b>売上総利益</b>	<b>8,340</b>	<b>8,387</b>	<b>17,119</b>
販売費及び一般管理費	6,937	7,066	13,799
<b>営業利益</b>	<b>1,402</b>	<b>1,320</b>	<b>3,320</b>
営業外収益	402	317	659
営業外費用	256	35	470
<b>経常利益</b>	<b>1,548</b>	<b>1,601</b>	<b>3,508</b>
特別利益	23	13	
特別損失	14	518	71
<b>税引前中間(当期)利益</b>	<b>1,557</b>	<b>1,096</b>	<b>3,437</b>
法人税・住民税及び事業税	771	544	1,882
<b>中間(当期)利益</b>	<b>786</b>	<b>552</b>	<b>1,555</b>
前期繰越利益	586	599	599
中間配当額			209
利益準備金積立額			20
<b>中間(当期)末処分利益</b>	<b>1,373</b>	<b>1,152</b>	<b>1,925</b>

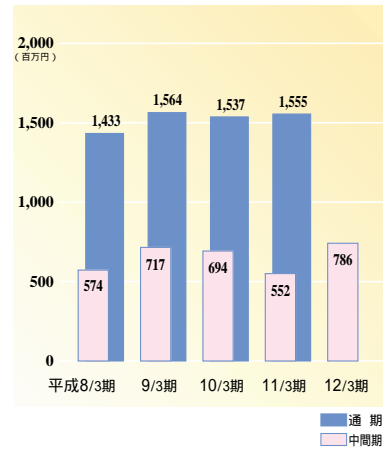
### 売上高



### 経常利益



### 中間・当期純利益



平成11年3月期(通期)より、事業税の取扱いは、改正後の財務諸表等規則に基づいております。

# 株式の状況

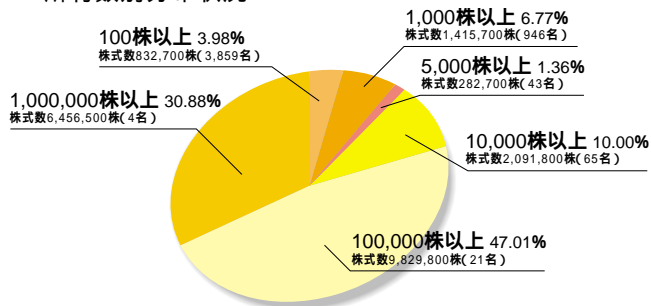
会社が発行する株式の総数

74,836,000株

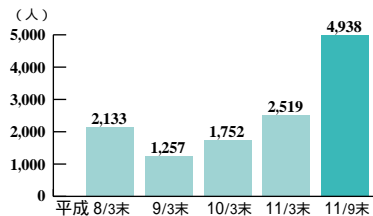
発行済株式総数

20,909,200株

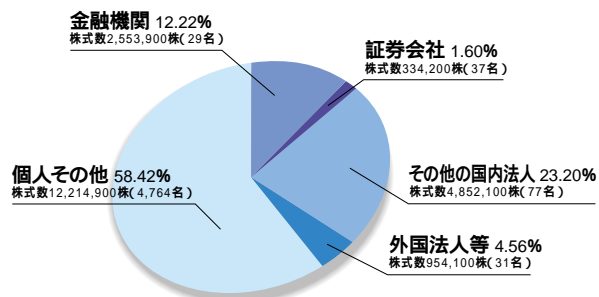
所有数別分布状況



株主数の推移

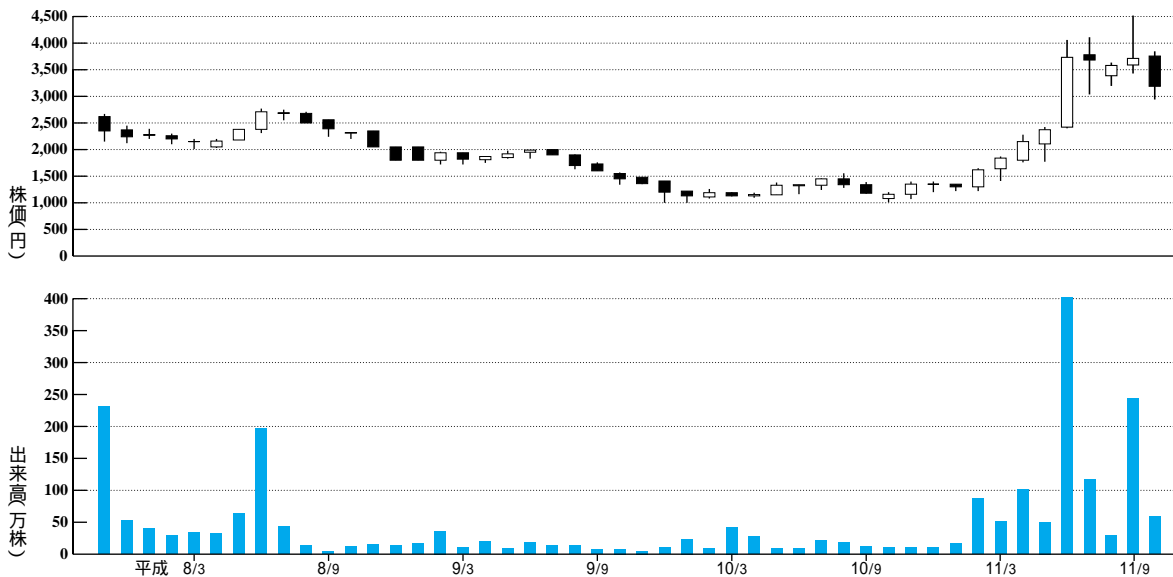


所有者別分布状況



株価・出来高の推移

平成8/7までは大証株価、翌月以降は東証株価を使用



データは9月30日現在。ただし「株価・出来高の推移」は10月29日現在です。

## 株主メモ

決算期日 3月31日  
定時株主総会 6月  
基準日  
定時株主総会 3月31日  
利益配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
その他必要がある場合は、あらかじめ公告して  
設定します。  
公告掲載新聞 日本経済新聞  
上場証券取引所 東京証券取引所市場第2部  
大阪証券取引所市場第2部  
証券コード 6869  
1単位の株式の数 100株

株式事務  
名義書換代理人 〒100-0005東京都千代田区丸の内一丁目4番5号三菱信託銀行株式会社  
同事務取扱場所 〒100-0005東京都千代田区丸の内一丁目4番5号三菱信託銀行株式会社 証券代行部

(注)上記名義書換代理人住所および同事務取扱場所は、平成12年2月14日に次の場所に  
移転いたします。 〒100-8212東京都千代田区永田町二丁目11番1号

(郵便物送付先、電話照会先)〒171-8508東京都豊島区西池袋一丁目7番7号  
三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話(03)5391-1900(代表)  
同取次所 三菱信託銀行株式会社 全国各支店

**お知らせ** 1.住所変更、配当金振込指定・変更、単位未満株式買取請求に必要な各用紙、および  
株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル 0120-86-4490で  
24時間承っておりますので、ご利用ください。  
2.配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込  
指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。

## 会社概要

商号 シスメックス株式会社  
SYSMEX CORPORATION  
(98年10月1日東亞医用電子株式会社から商号変更)  
設立年月日 昭和43年2月20日  
資本金 33億8490万円  
従業員数 998名 嘱託およびパートタイマー209名は含んでおりません。  
主な事業の内容 臨床検査機器、検査用試薬、粒子分析機器ならび  
に関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入  
主な事業所  
本社 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号  
TEL.078-265-0500(代) FAX.078-265-0524  
テクノセンター 仙台支店 営業所  
加古川工場 東京支店 札幌、盛岡、大宮、千葉、  
小野工場 名古屋支店 横浜、新潟、金沢、静岡、  
大阪支店 京都、神戸、広島、高松、  
福岡支店 鹿児島

主な関係会社  
メディカ株式会社  
トーアメディカル株式会社  
シスメックス物流株式会社  
株式会社アール・イー・システムズ  
SYSMEX CORPORATION OF AMERICA.(アメリカ)  
SYSMEX REAGENTS AMERICA,INC.(アメリカ)  
SYSMEX INFOSYSTEMS AMERICA,INC.(アメリカ)  
SYSMEX DO BRASIL INDUSTRIA E COMERCIO LTDA(ブラジル)  
SYSMEX EUROPE GMBH(ドイツ)  
SYSMEX DEUTSCHLAND GMBH(ドイツ)  
SYSMEX UK LIMITED(イギリス)  
SYSMEX BELGIUM S.A.(ベルギー)  
SYSMEX MOLIS S.A.(ベルギー)  
済南希森美康医用電子有限公司(中国)  
SYSMEX SINGAPORE PTE LTD(シンガポール)  
SYSMEX (MALAYSIA) SDN BHD(マレーシア)  
SYSMEX TRANSASIA BIO-MEDICALS PVT.LTD.(インド)  
SYSMEX (THAILAND) CO.,LTD.(タイ)  
MED-ONE CO.,LTD.(タイ)

## 役員のご紹介

取締役社長 (代表取締役) ... 冢次 恒  
専務取締役 ... 雪本 賢一  
常務取締役 ... 岡田 徳弘  
常務取締役 ... 和歌 光雄

取締役 ... 中嶋 国雄  
取締役 ... 日置 栄一  
取締役 ... 中谷 正  
取締役 ... 林 正好

取締役 ... 大東 重則  
取締役 ... 山本 博  
取締役 ... 中島 幸男  
常勤監査役 ... 天野 好勝  
常勤監査役 ... 植益 純隆  
監査役 ... 石田 義曉

データは全て'99年9月30日現在のものです。



## 教育・ヘルスケア市場に向けた新製品が登場!!

保育園・幼稚園児の健康と成長をやさしく  
見守る園児健康管理ソフトウェア

### げんききっず



“げんききっず”ならこんなことも簡単!

日々の園児の記録メモ、名簿データの出力、施設やクラス単位の統計データなど、多彩な用途に活用できる機能が満載です。

毎月のデータを入力するだけで、成長記録をグラフ化したり、厚生省の標準データと一目で比較できるグラフが作成できます。毎年増える園児のデータも、コンピュータなら保存・検索が簡単にできます。

デジタルカメラやスキャナーを利用すれば、写真入りのオリジナルな誕生日・卒園シートが簡単に作成できます。

園児達の健康データや成長記録をパソコンで管理。初心者でも簡単に操作できるソフトです。

子どもの日頃の健康状態や成長過程を知ることが、親にとっての重要な役割です。そこで今回発売した“げんききっず”は、保育園や幼稚園で園児達の身長や体重などの発育測定データを記録・保存。保護者に向けた発育便りや検診便り、誕生日・卒園お祝いカードなどが簡単に作成できるパソコンソフトです。少子化が進む中で「コンピュータを利用して健康管理ができる保育園」としてアピールできます。当社が臨床検査で培ったソフトウェア開発技術を活かし、教育市場・ヘルスケア市場へ新たに事業展開を図る新製品です。



# シスメックスは こんなところで 活躍しています

私たちがもっている  
知っているだけの人々へ

前号“第32期営業のご報告”で行いましたアンケートに、多数のご回答をいただきありがとうございました。その中では「シスメックスってどんな会社...?」「製品はどんな所で使われているの...?」といったご質問をたくさんいただきました。そこで、このコーナーでは私たちの事業内容やフィールドを、ご紹介いたします。

## 病院や検査センター



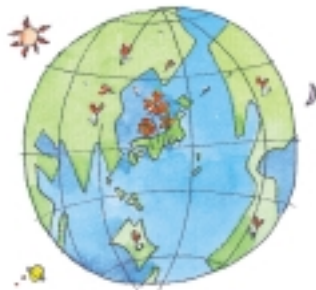
健康診断や体の調子が悪くて病院を訪れた時に行われる血液や尿の検査。シスメックスは、これらの検査で使用する検体検査機器、試薬、そしてソフトウェアの総合メーカーです。開発から製造、販売、アフターサービスまでトータルに展開しています。

## 地球規模のフィールドで…



シスメックスの製品は120カ国以上の病院などで活躍。海外関係会社も15社におよび、地域に適合した製品をお届けしています。血球計数分野では、世界第2位(約20%シェア)を獲得しています。

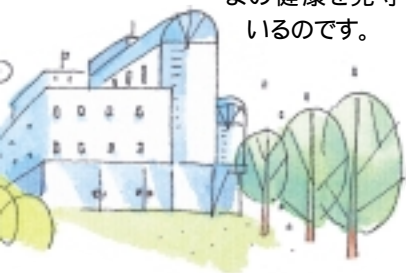
シスメックスの独自の強み(技術力)を活かして、世界トップ企業と対等に提携。着実に事業領域・販売エリアを拡大しています。



欧米はもちろん、アジアや中南米の国々でも医療環境の整備をお手伝いしています。

## 一などで…

シスメックスの製品は、直接皆さまの目に触れることはあまりありません。でも、病院、検査センター、血液センターなどで、いつも皆さまの健康を見守っているのです。



血液や尿は健康のパロメーター。特に、血球計数検査は最も基本的な検査のひとつで、体の中の異常の有無を調べる大切な役割を果たしています。



シスメックスの検査機器は、専用試薬を使うことにより正確な検査結果が得られます。機器とともに専用試薬を継続的にご使用いただくことで、安定した収益構造となっています。

## 21世紀の健康社会づくりに向けて…

日頃の健康管理がますます重視されている今、手軽に健康管理のお手伝いができる製品の開発に取り組んでいます。さらに、シスメックス独自の技術を活かし、工業分野への応用など、医療の領域を超えて新たな事業展開を図っています。



2000年春には、新しい中央研究所が完成。21世紀に向けてますます充実したテクノロジー開発に取り組めます。

シスメックス

## 海外事業所通信—②

シンガポール



東南アジア全域を統括する  
販売・サービスの拠点

SYSMEX SINGAPORE  
PTE LTD



Mr. Geoffery Kueh Kee Boon  
Technical Manager

マレー半島、中国、インド、スリランカなどさまざまな国から移住してきた人々の子孫たちで形成されている、多民族国家シンガポール。道教、仏教、イスラム教、キリスト教など宗教も多岐にわたっています。そのため、風習や食べ物なども多彩で、年間を通じてさまざまなお祭りが行われます。特に今年は来たる西暦2000年を祝って、イベントが繰り広げられています。アート・フェスティバル、グルメ・フェスティバル、リバーフェスタなどのお祭りが華やかに開催されました。シンガポールの「千年祭」は2000年夏まで続き、ますます賑わうことでしょう。



このシンガポールに'94年に駐在員事務所がオープンし、つづいて'98年4月に、シスメックスシンガポールが設立されました。現在はシンガポール国内はもちろんのこと、パキスタン、インド、スリランカ、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナム、マレーシアなどの国々に、当社の検査機器や試薬を供給し、それぞれの国の医療事情に応じたメンテナンスやサービスを行う統括会社です。

昨今、東南アジアはまれにみる通貨危機に見舞われましたが、今ではほぼ正常に回復。医療環境の整備が急速に進展する中、臨床検査機器の需要も多く、シスメックス製品のニーズはますます拡大しています。

年間を通じて温かい一定した気温と、豊富な降水量で、1年中蘭の花が咲き誇る、美しい国。シスメックスシンガポールは、21世紀におけるアジアマーケットの重要な拠点としてこれからも積極的に事業展開してまいります。